

第 75 回放射線治療技術研究会

緩和治療の実際と工夫

岐阜市民病院 林 雅也

岐阜市民病院における緩和照射の件数は総件数の 3～4 割程度である。2024 年 10 月まで稼働していたクリナックと現在も稼働中のノバリスで患者の状態に合わせて治療機を選択をしている。2025 年 6 月現在にはクリナックの更新に伴いラディザクトが稼働を開始しているが、装置の特徴や患者の状態に合わせて今後も照射していく予定である。

当院では幅広く緩和照射を行っており、その照射方法は IMRT 技術を利用することもある。症状の緩和が得られそうな症例については再照射も行う。IMRT 技術を利用する場合はバックロックで固めることを優先されるが、姿勢の維持に苦痛を感じる患者にはなるべく安楽な姿勢で寝てもらうセットアップを心掛けている。また、休日や時間外の緊急照射に対応するためにフローチャートを作成しており、医師、看護師、診療放射線技師に連絡をとれる体制を取っている。最後に緩和照射の効果が得られた症例を紹介する。